

同じ地名つなぐ支援

とどけ

被災地へ

二つの山元町をつないだのは、横浜でIT関連企業を経営する渡辺桃世子さん。県中小企業家同友会の一員として救援活動をする中で、宮城県の担当者から沿岸部の支援を要請された。

「震災の報道で初めて山元町の存在を知った。人ごとではない。何か自分たちでできることがあればと思

った」と商売会の厚浦信夫会長。4日には渡辺さんが宮城

県山元町を訪れた。JR常磐線坂元駅は無残な姿となり、一面にがれきの山。「爆撃を受けたような」光景に言葉を失った。

斎藤俊夫町長にも面会。町は仮設住宅の建設を予定しているが、茶わんや炊飯器といった日用品や家財道具が圧倒的に不足しており、斎藤町長は支援の申し出に感謝し「今後も支援してもらえるとありがたい」と話していたという。

中区山元町、宮城に物資

横浜市中区山元町が、地域ぐるみで東日本大震災の被災地支援に乗り出す。支援先は宮城県山元町。同じ名前の町が津波によって大きな打撃を受けているのに心を痛めた。10日に支援物資を収集し、現地に届ける。「同じ地名の町で暮らす人が苦しんでいる。息の長い支援を続けたい」と話している。(岡本 晶子)

津波で大きな打撃を受けた沿岸部には、横浜と同じ山元町の名があった。地元のお店街「2丁目商業会」に相談すると、支援の輪は最終的に1〜5丁目の町内会にも広がった。

津波によって無残な姿に変わり果てたJR常磐線坂元駅(宮城県山元町) (4日、渡辺さん撮影)



日用品など提供呼び掛け

「恩返しを」野菜運搬 南三陸へ

東日本大震災で大きな被害が出た宮城県南三陸町を支援しようと、三浦市の野菜出荷グループ「春キャベツ松輪」が立ち上がった。7日午前7時半、支援物資を積んだ4トトラック1台が被災地に向けて同市南浦町松輪の野菜集荷所を出発した。

層水を使っており、導入時に助言してくれた南三陸町出身の知人の実家も津波に流されてしまったという。被災地は野菜が不足しているとの聞き、新鮮でおいしいキャベツを届けたいと朝

健康食品代金詐取 容疑の無職男逮捕

神奈川署は7日、詐欺の疑いで、横浜市神奈川区六角橋6丁目、無職清水昌夫容疑者(77)を逮捕した。逮捕容疑は、2007年4月中旬から同5月中旬までの間、同区の無職女性(67)に「健康食品を一括前払いで購入すると得。必要

同署には05年ごろある健康を仕入れた。同署は07年2月17日にわ47万円だった。7割分のいなかついてい調べてい

「恩返しじゃないけど、何かできないかと思っただ。ハンドルを握るのは、農家の杉野幸雄さん(47)。同グループは栽培に海洋深

レシ袋、ポリ袋▽洗剤(洗濯用/トイレ用)、台所用漂白剤▽シャンプー・リンス▽ひげそり。収集は10日午前10時〜午後2時、山元町2丁目の「セブニーイレブン」横の空きスペースで。商店街関係者らが仕分けをし17日、現地に届ける。

【入港】S前8・TSコリア本牧BC・ラック(本牧C)後YS後Vワン・ハ前0・20清Lサパンナ本牧C8

入出 入出